

# 米倉教公の週間為替市場見通し

6/19 日週号

ドル/円予想レンジ 108.20 - 112.00 円

## 『米住宅指標と米FRB要人による講演内容に注目!』

### ■前週の市場動向：ドル/円は買い戻し!

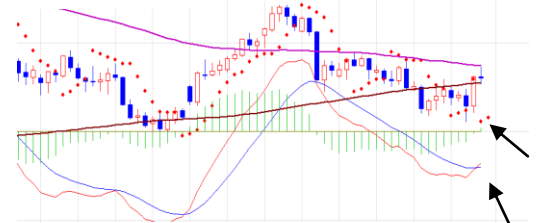
前週のドル/円週足では、前週の十字線を包む下ヒゲの長い陽線となった。週明けは、世界的に株価が下げたことで、一時109.60円近辺まで円買い・ドル売りが進行した。13日は、株高を支えに買い戻しが入ったが、FOMCを控え110.00円を挟んで方向感のない展開。14日は、米5月小売売上高や5月消費者物価指数が市場予想を下回り、米長期金利が急低下すると4月以来の108円台まで下落した。FOMCでは市場の大方の予想通り米国の利上げを決定するとともに、バランスシートの縮小を今年中に始める方針を示した。さらにイエレン米FRB議長は、会場でタカ派寄りの発言内容だったことからドルを買い戻す動きとなった。15日も買い戻す動きが継続した。英中銀金融政策委員会(MPC)議事要旨で利上げを主張した委員が前回の1人から3人に増えたことが明らかになると、ポンド/円の急伸につれてドル買いが進んだ。また、良好な米経済指標を受け米長期金利が上昇したことで、111.00円寸前までドル買いが進行した。16日も買いが継続し一時111.41円まで上値を伸ばしたが、米5月住宅着工件数などが予想を下回ると110.60円前後まで伸び悩んだ。

### ■今週の注目点：米住宅指標とFRB要人による講演内容に注目!

今週の注目点は、米住宅指標とFRB要人による講演内容となる。前週発表された米国の住宅着工件数は予想外の減少となった。このところの指標では米国経済の成長鈍化が窺える証拠が見られ始めている。21日の米5月中古従歌う販売件数や23日の米5月新築住宅件数が注目される。今週はFRB要人の講演が相次ぐ。前週のFOMCでは利上げペースへの慎重姿勢が示される一方、早ければ9月からの保有資産の縮小の方向性が示された。改めて出口戦略に前向き姿勢が見られるかが注目される。上値目途は、16日高値111.41円や5月25日111.95円となる。下値目途は、14日高値110.34円、節目の110.00円、8日安値109.38円、4月17日安値108.14円となる。前週まで大イベントが続いたが、今週は材料不足によりもみ合いの展開も予想される。

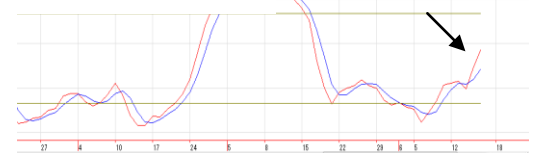
ドル/円：日足 終値：110.87円

75日線が抵抗



テクニカルでは反転の兆しも!

%K、%Dは上昇基調



### ★前週の気になる出来事

都市伝説にでもなりそうなことに、FOMCが利上げしようが、先行きのバランスシートの縮小発言が出ようが、米国株は強く、米長期金利は低下傾向にあることである。トランプ政権に対する期待と失望が入り乱れているせいなのか? 不思議な現象となっている。米国株は買うから上がる、上がるから買うなか、史上最高値を更新している。一方で、先行きの景気減速に対するヘッジとして、債券買い(利回り低下)をしているのだろう。こういう相場は、情報を『見ざる聞かざる』テクニカルに特化することが勝利か。

### ■テクニカル的な見解：テクニカル的には75日線を上抜け出来るかが焦点!

シカゴIMM投機筋の6月13日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲55,027から▲50,553へと売り持ち高は前週から減少した。パラボリック(パラメータ:0.08、0.3)では、6月15日から買い転換となった。19日のSARは108.99円まで下落すると売り転換となる。MACD(パラメータ:12、26、9)では、MACDとシグナルがゴールデンクロスし始めた。ストキャスティクス・スロー(パラメータ:14、3、3、20、80)では、%K:56.04、%D:43.18と戻り基調となっている。75日線(紫線)がレジスタンスラインとなっている一方、200日線(茶線)がサポートラインに。ロウソク足は、前日ロウソク足に対して上値・下値切り上げとなっていることから戻り基調は維持している。戻り基調にあるものの、75日線の111.46円を上回れるかがカギとなる。一方200日線の110.67円がサポートするかも注目される。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。